



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本体育大学 横浜・横浜キャンパス 再開発整備(アカデミックコア棟)	階数	地上7F、地下0階
建設地	神奈川県横浜市青葉区鴨志田町山1214番地、他	構造	RC造
用途地域	第一種中高層、第二種中高層、準防火地域	平均居住人員	3,550 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2025年2月 竣工	評価の実施日	2023年5月18日
敷地面積	3,617 m ²	作成者	株式会社 久米設計 鈴木章浩
建築面積	2,027 m ²	確認日	2023年5月24日
延床面積	13,324 m ²	確認者	株式会社 久米設計 鈴木章浩



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.7</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 3.5</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 3.1</p>
LR 環境負荷低減性		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 4.1</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 3.6</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
敷地内を積極的に緑化、省エネ機器を積極的に採用し、環境負荷の低減を図るとともに、建物の維持管理にも配慮した計画としている。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
LowEガラスを採用するなどして外皮性能を確保、教室、研究室にはブラインド設置を計画することで、室内環境を快適に過ごせるよう考慮している。	長期に建物を使用するにあたり、維持管理に配慮した計画、階高の確保等により建物の機能性を高めている。	屋上緑化を行い敷地内を積極的に緑化、暑熱環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明などの高効率な設備機器、制御を取り入れ、エネルギー消費の低減に努めた。	リサイクル建材を導入し、省資源に取り組んでいる。	屋外照明の計画は、周囲への光害対策に配慮している。また、駐車駐輪に考慮し敷地内に十分なスペースを設け、利用者の利便性向上に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称

日本体育大学 横浜・健志台キャンパス 再開発整備(アカデミック・コア棟)

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】

4

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量

33

%削減



誘導基準

一次エネルギー消費量基準

適合

外皮基準

対象外

受付日

2023年5月25日

■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①建物において最良の日射遮蔽性能、断熱性能を有している

②昼光利用として、建物内部に光庭を計画

③BEIが基準値を満たしている

④エネルギー消費量目標を設定、建築主へ報告している

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】

3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑨室内への熱の侵入に対して、最良の日射遮蔽性能、断熱性能を有し、湿度制御により快適性向上に配慮している

⑪F☆☆☆☆建材の採用、CO2濃度の管理、校内は禁煙とする

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

⑫建築物移動円滑化基準を満たす

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防 災】

4

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮重要度係数1.25、耐震クラスA以上

⑰ダクト、配管において、耐用年数の長い材料を採用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】

3

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

㉑図書館、食堂、コンビニエリアの地域への開放、およびベンチや植栽などの計画を行い、利用者の憩いの場となるよう配慮した

太陽光発電などの導入



太陽光利用

エネルギーマネジメントシステム導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

木材利用



スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅> <集合住宅>		評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質					-		-		-	3.2
Q1 室内環境					0.40		-		-	3.1
1 音環境				2.8	0.15		-		-	2.8
1.1 騒音				3.0	0.40		-		-	-
1.2 遮音				2.6	0.40		-		-	-
1 開口部遮音性能				3.0	0.30		-		-	-
2 界壁遮音性能				3.0	0.30		-		-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				1.0	0.20		-		-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20		-		-	-
1.3 吸音				3.0	0.20		-		-	-
2 温熱環境				3.2	0.35		-		-	3.2
2.1 室温制御				2.6	0.50		-		-	-
1 室温		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.60		-		-	-
2 外皮性能		快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	2.0	0.40		-		-	-
3 ゾーン別制御性		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-		-		-	-
2.2 湿度制御		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	5.0	0.20		-		-	-
2.3 空調方式		快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30		-		-	-
3 光・視環境				2.6	0.25		-		-	2.6
3.1 昼光利用				1.8	0.30		-		-	-
1 昼光率		快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.60		-		-	-
2 方位別開口		快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-		-		-	-
3 昼光利用設備		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.40		-		-	-
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		-	-
1 昼光制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00		-		-	-
3.3 照度		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15		-		-	-
3.4 照明制御		快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25		-		-	-
4 空気質環境				3.8	0.25		-		-	3.8
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		-	-
1 化学汚染物質		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00		-		-	-
4.2 換気				3.3	0.30		-		-	-
1 換気量		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	0.33		-		-	-
2 自然換気性能		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33		-		-	-
3 取り入れ外気への配慮		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33		-		-	-
4.3 運用管理				4.0	0.20		-		-	-
1 CO ₂ の監視		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	5.0	0.50		-		-	-
2 喫煙の制御		快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50		-		-	-
Q2 サービス性能				-	0.30		-		-	3.5
1 機能性				3.2	0.40		-		-	3.2
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40		-		-	-
1 広さ・収納性		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-		-		-	-
2 高度情報通信設備対応		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-		-		-	-
3 バリアフリー計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	1.00		-		-	-
1.2 心理性・快適性				2.0	0.30		-		-	-
1 広さ感・景観		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50		-		-	-
2 リフレッシュスペース		快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-		-		-	-
3 内装計画		快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.50	1.0	-		-	-
1.3 維持管理				3.5	0.30		-		-	-
1 維持管理に配慮した設計		快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	0.50		-		-	-
2 維持管理用機能の確保		快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50		-		-	-
2 耐用性・信頼性				3.5	0.30		-		-	3.5
2.1 耐震・免震				3.8	0.50		-		-	-
1 耐震性		防災	⑬耐震・免震	4.0	0.80		-		-	-
2 免震・制振性能		防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20		-		-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30		-		-	-
1 躯体材料の耐用年数		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	-	-		-		-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.25		-		-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.13		-		-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	4.0	0.13		-		-	-
5 空調、給排水配管の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.25		-		-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔		防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.25		-		-	-
2.4 信頼性				3.0	0.20		-		-	-
1 空調・換気設備		防災	⑯信頼性	1.0	0.20		-		-	-
2 給排水・衛生設備		防災	⑯信頼性	2.0	0.20		-		-	-
3 電気設備		防災	⑯信頼性	4.0	0.20		-		-	-
4 機械・配管支持方法		防災	⑯信頼性	4.0	0.20		-		-	-
5 通信・情報設備		防災	⑯信頼性	4.0	0.20		-		-	-
3 対応性・更新性				3.9	0.30		-		-	3.9
3.1 空間のゆとり				4.6	0.30		-		-	-
1 階高のゆとり				5.0	0.60		-		-	-
2 空間の形状・自由さ				4.0	0.40		-		-	-
3.2 荷重のゆとり				4.0	0.30		-		-	-
3.3 設備の更新性				3.4	0.40		-		-	-
1 空調配管の更新性				3.0	0.20		-		-	-
2 給排水管の更新性				3.0	0.20		-		-	-
3 電気配線の更新性				5.0	0.10		-		-	-
4 通信配線の更新性				5.0	0.10		-		-	-
5 設備機器の更新性				3.0	0.20		-		-	-
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.20		-		-	-



CASBEE横浜2022年版v.1.1

日本体育大学 横浜・健志台キャンパス 再開発整備（アカデミック・コア棟）

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.1

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q3 室外環境（敷地内）		—	0.30	—	—	—	—	3.1
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり ⑩生物環境の保全と創出	3.0	0.30	—	—	—	—	3.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	—	—	—	—	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	—	—	—	—	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり ⑪地域性への配慮	4.0	0.50	—	—	—	—	—
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ ⑫敷地内温熱環境の向上	3.0	0.50	—	—	—	—	—
LR 建築物の環境負荷低減性		—	—	—	—	—	—	3.5
LR1 エネルギー		—	0.40	—	—	—	—	3.8
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能 ①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	—	—	—	—	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能 ②自然エネルギー利用	3.0	0.10	—	—	—	—	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能 ③設備システムの高効率化	4.3	0.50	—	—	—	—	3.6
4 効率的運用		3.5	0.20	—	—	—	—	3.5
集合住宅以外の評価		3.5	1.00	—	—	—	—	—
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	—	—	—	—	—
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	4.0	0.50	—	—	—	—	—
集合住宅の評価		—	—	—	—	—	—	—
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	—	—	—	—	—	—	—
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	—	—	—	—	—	—	—
LR2 資源・マテリアル		—	0.30	—	—	—	—	3.6
1 水資源保護		3.0	0.20	—	—	—	—	3.0
1.1 節水		3.0	0.40	—	—	—	—	—
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	—	—	—	—	—
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	—	—	—	—	—
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	—	—	—	—	—
2 非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60	—	—	—	—	3.7
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	—	—	—	—	—
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	—	—	—	—	—
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	—	—	—	—	—
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		5.0	0.20	—	—	—	—	—
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	—	—	—	—	—
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	—	—	—	—	—
3 汚染物質含有材料の使用回避		4.0	0.20	—	—	—	—	4.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		4.0	0.30	—	—	—	—	—
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	—	—	—	—	—
1 消火剤		4.0	0.33	—	—	—	—	—
2 発泡剤（断熱材等）		5.0	0.33	—	—	—	—	—
3 冷媒		3.0	0.33	—	—	—	—	—
LR3 敷地外環境		—	0.30	—	—	—	—	3.0
1 地球温暖化への配慮		3.8	0.33	—	—	—	—	3.6
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	—	—	—	—	2.5
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	—	—	—	—	—
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	—	—	—	—	—
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	—	—	—	—	—
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	—	—	—	—	—
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	—	—	—	—	—
3 交通負荷抑制		5.0	0.25	—	—	—	—	—
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	—	—	—	—	—
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	—	—	—	—	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	—	—	—	—	—
1 騒音		3.0	1.00	—	—	—	—	—
2 振動		—	—	—	—	—	—	—
3 悪臭		—	—	—	—	—	—	—
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	—	—	—	—	—
1 風害の抑制		3.0	0.70	—	—	—	—	—
2 砂塵の抑制		1.0	—	—	—	—	—	—
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	—	—	—	—	—
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	—	—	—	—	—
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		4.0	0.70	—	—	—	—	—
2 屋外の建物外壁による反射光（グレア）への対策		3.0	0.30	—	—	—	—	—
上記以外の重点項目			—	—	—	—	—	—
<事務用途>			—	—	—	—	—	—
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ ⑬知的生産性向上への取組	1.0	—	—	—	—	—	—
<住宅用途>			—	—	—	—	—	—
健康と安心			—	—	—	—	—	—
1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑭健康対策	—	—	—	—	—	—	—
2 適切な換気計画	健康・安心 ⑭健康対策	—	—	—	—	—	—	—
3 結露・カビ対策	健康・安心 ⑭健康対策	—	—	—	—	—	—	—
4 犯罪に備える（共用部の防犯対策）	健康・安心 ⑮防犯対策	—	—	—	—	—	—	—